

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆25年度の実質成長率は0.6%、26年度は0.7% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、内閣府が8月15日に公表した2025年4～6月期の国内総生産(GDP)速報値を織り込んだ予測によると、25年度の実質成長率は0.6%、26年度は0.7%の見通しとなった。25年4～6月期の実質成長率は5四半期連続のプラス成長となった。

◆4～6月期需給ギャップ、プラス0.1% 年1兆円の需要超過

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが4～6月期はプラス0.1%だったとの推計結果を発表。年換算で1兆円ほどの需要超過だった。プラスは2023年4～6月期以来2年ぶり。8月15日発表の4～6月期の国内総生産(GDP)速報値に基づき試算。需給ギャップのプラス幅は小さく、GDPの改定値次第でマイナスに転じる可能性は残る。

◆製造業の経常利益11.5%減 4～6月法人企業統計、関税の影響大きく

・財務省が発表した4～6月期の法人企業統計によると、経常利益は製造業が前年同期比11.5%減と2四半期連続のマイナスとなった。米国の関税措置の影響が大きいとみられる。全産業(金融・保険業を除く)は3四半期連続のプラスで35兆8338億円と過去最高を更新した。伸び幅は0.2%にとどまった。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆企業の設備投資、持続力どこまで 4～6月は車・食品けん引し7%増

・企業の設備投資が堅調に推移している。財務省が1日に発表した4～6月期の法人企業統計調査によると、設備投資は前年同期比7.6%増と2四半期連続で増えた。自動車や食料品がけん引した。米関税政策で足元の収益力には不安が出てきた。企業の投資が今後も持続するかが焦点となる。

◆7月中古マンション、12カ月連続上昇 東京都など4エリアで最高額を更新

・不動産情報サービスのアットホームは同社の不動産情報ネットワークで消費者向けに登録・公開された7月の首都圏中古マンションの価格動向を発表。首都圏全体の1戸あたりの平均価格は、前月比1.1%増の4712万円と12カ月連続で上昇。東京都(23区/都下)、横浜市・川崎市、千葉県他の4エリアで2017年1月以降最高額を更新。

◆東電PG、管内の発電所に稼働協力要請 猛暑で今夏初

・送配電会社の東京電力パワーグリッド(PG)は9月1～2日の電力需給が厳しくなりそうだと、首都圏の発電事業者などに両日は発電所の点検や停止を避けるよう要請を始めた。現時点では最低限必要な電力を確保できる見通しであるものの、想定以上の高気温になるとみられ、冷房需要が膨らめば安定供給に支障が出かねないと判断した。

《 注目商品 》

■ノーリツ、オゾン水・UV除菌搭載の給湯器「GTH-C71/70シリーズ」

・オゾン水やUVによる除菌機能を備えた高効率ガス温水暖房付ふろ給湯器。独自のオゾン水除菌ユニットAQUA OZONE(アクアオゾン)を搭載。オゾン水を流して目に見えないふる配管を除菌し、排水口にたまった水の臭いも抑制する。



■リンナイ、イタリアデザインのレンジフード「AGG」シリーズ

・イタリアデザインのレンジフード「AGG」シリーズを発売。イタリアのエリカ社と富士工業の合併会社であるアリアフィーナのブランドフィロソフィーを踏襲したレンジフード。風量おまかせ運転や、お掃除のしやすい構造により、美しさと機能性を兼ね備える。



■パナソニック、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ

・パソコン画面や紙の文字が見やすい光で明るく照らす「パソコンくっきり光」と「文字くっきり光」を全機種に標準搭載し、豊富なデザインや部屋の広さで選べるラインアップに一新した、パルックLEDシーリングライト スタンダードシリーズ計15品番を発売。

